



# 千里救命救急センタードクターカーの 現状と課題

大阪府済生会千里病院  
千里救命救急センター

林 靖之

# 大阪府豊能医療圏の概要



4市2町

吹田市 豊中市 池田市

箕面市 豊能町 能勢町

救急車 26台

実働救急救命士 151名

面積: 275.71平方キロ

人口: 約100万人

年間救急件数 約45,000件

# 千里救命救急センタードクターカー

消防本部



救急車出動

119番通報

現場

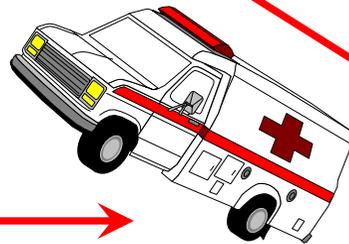
ドクターカー出動依頼  
(同時要請)

医師

看護婦

救急救命士(研修)

運転手



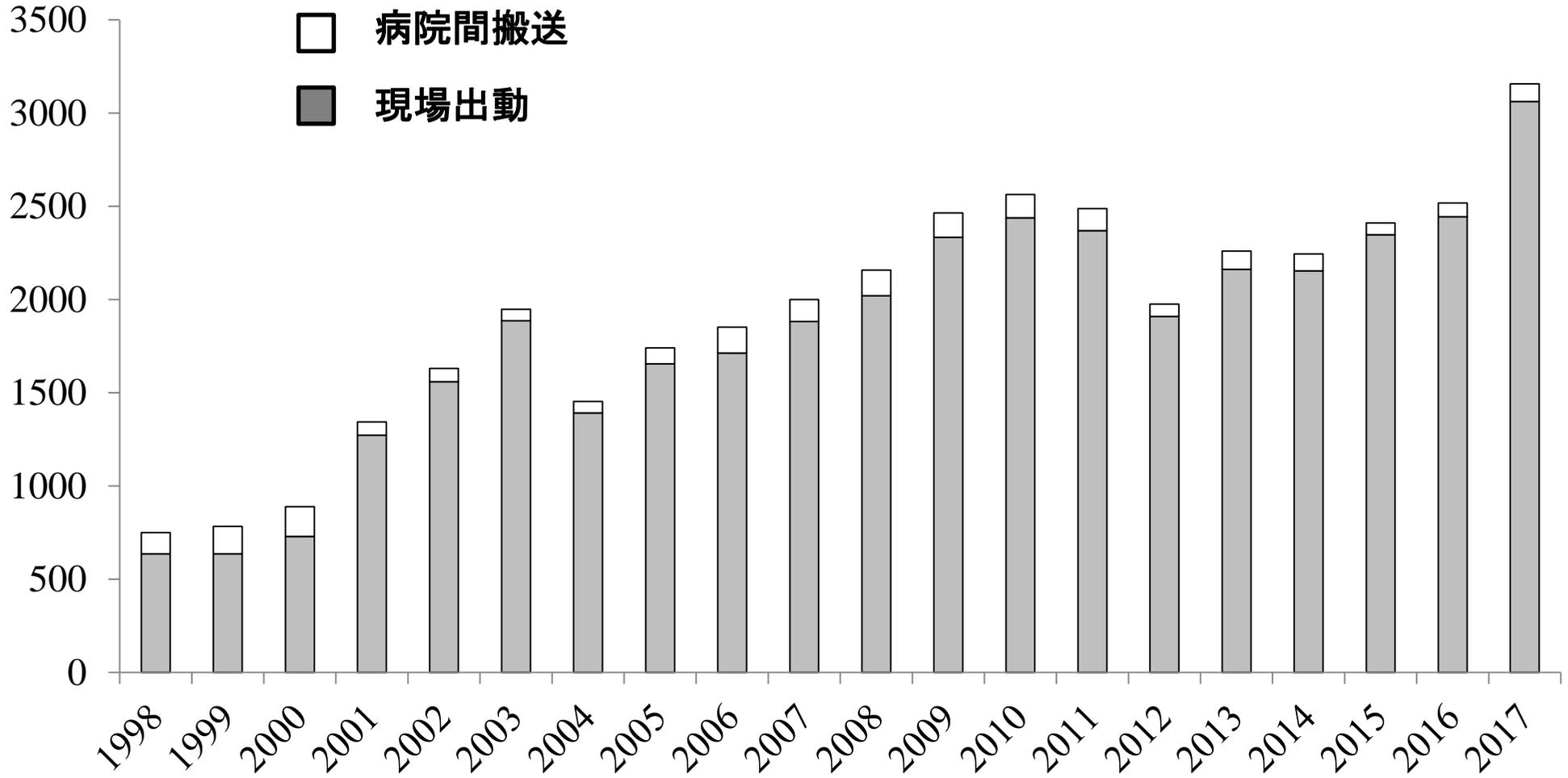
ドクターカー出動

救命救急センター

# ドクターカー一年間出動件数

件

- 病院間搬送
- 現場出動



年度

# 救急救命士院内・ドクターカー研修

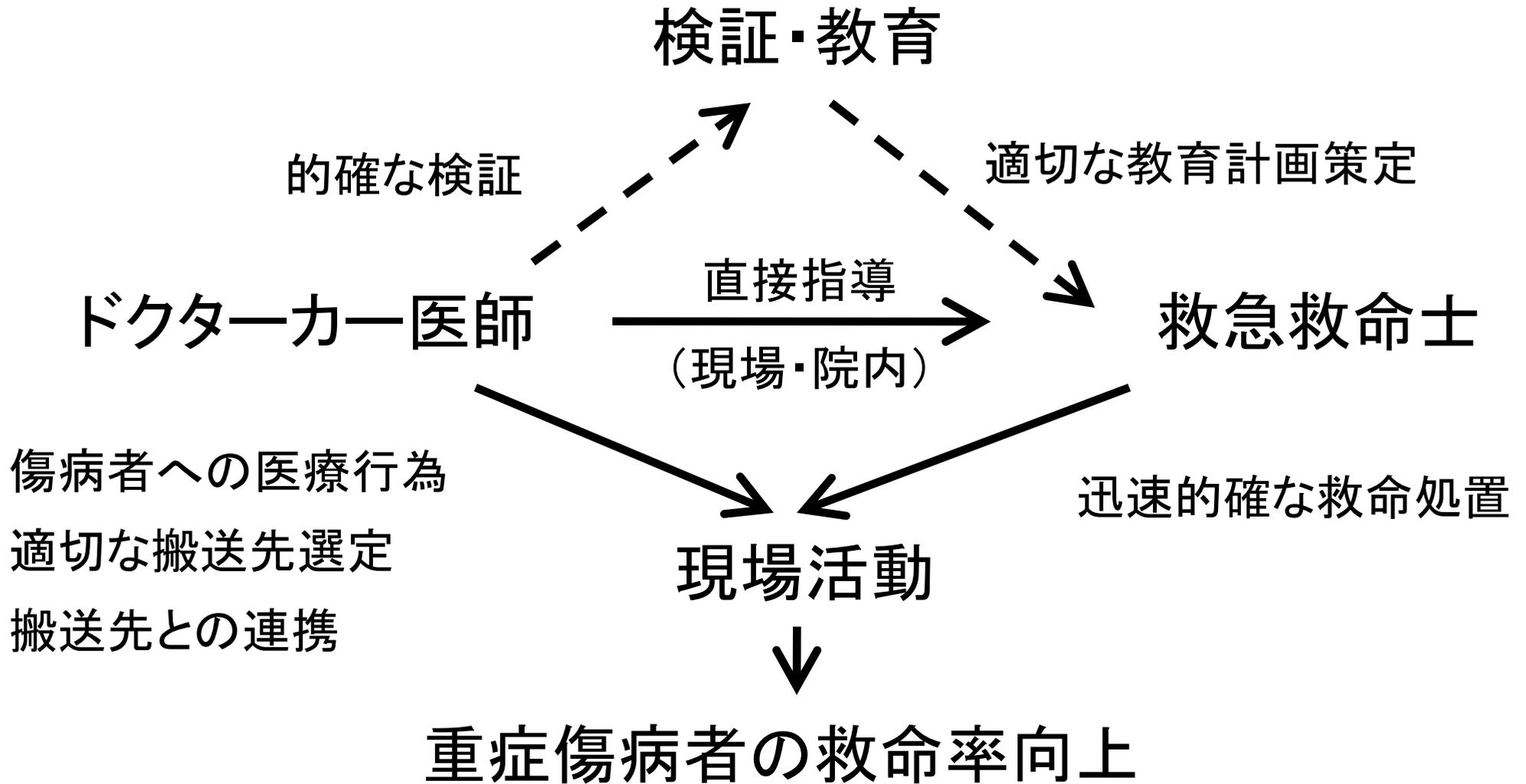


豊能地域消防本部から毎日最低1名派遣

搬入患者対応について研修するとともに  
ドクターカー出動時には同乗し研修実施。

毎朝のカンファレンスでは、  
ドクターカー出動症例の一部について  
救急救命士が発表

# ドクターカー医師と救急救命士との関係



# 消防との連携についての現状・課題

- 1 検証においては、ドクターカー要請の可否についてもフィードバックされ、積極的に出動要請が行われている。
- 2 ドクターカー医師の現場での活動救急隊への直接指導に加え研修救命士に対する院内・ドクターカー研修での指導も救急隊のレベルアップに貢献していると考えられる。
- 4 ドクターカーは傷病者への医療という直接的な効果に加え救急隊のレベルアップという間接的な効果により重症傷病者の救命に貢献していると考えられる。
- 5 オーバートリアージの増加による途中中止事例が増加し、その対応方法が課題となっている。

# ドクターカー乗務医師に求められる能力

1 観察力

2 判断力

3 処置能力

4 説明能力

5 リーダーシップ

6 コーディネート力

日常臨床でのOn the job training  
および  
ICLS、JPTEC等のOff the job training

???

# ドクターカー運用にかかる経費(新規に導入する場合の試算)

設備投資	車両(救急車タイプ)	18,000,000円
	装備	9,000,000円
	計	27,000,000円

現在購入4年で10万km つまりドクターカーの年間走行距離:約25000km  
・・・ 約6年で更新必要

毎年の経費	医師、看護師人件費(※)	28,072,000円
	車両運行委託費	21,600,000円
	減価償却費	4,000,000円
	計	53,672,000円

※平日日勤帯以外(夜間当直帯および土日祝日勤帯)に、非常勤の医師、看護師をドクターカー業務に専従として雇用する場合の試算(平日日勤帯は院内業務と兼務する医師、看護師がドクターカー業務に従事するため費用負担なしと想定)

# ドクターカー出動における診療報酬

往診料 720点（夜間1370点、深夜2020点）

医師が現場到着し、傷病者を診察すれば発生

救急搬送診療料 1300点（長時間加算 700点）

医師がドクターカーで傷病者を医療機関に搬送すれば発生

診療情報提供書作成料 250点

当ドクターカーでは他院搬送事例についても診療報酬を請求し、多くの場合支払いに応じていただけているが、請求できていない地域もある。

# 財政的課題

- 1 運転手確保にはどのような方式であれ一定の財源が必要。
- 2 医療スタッフ確保については、院内業務と兼務となるが、専従のためには、相当の財源が必要。
- 3 車両が高額であり、出動件数が増加すると、それに応じて車両の更新時期も早くなり、それを見越した予算措置が必要。
- 4 診療報酬については、上記を勘案すると、増額が必要ではないかと考える。  
また地域MCが認めたドクターカーに特化した往診料設定および請求ルールの作成も必要と考える。